

2022 年度近畿学校保健学会奨励賞 抄録

外部講師による性教育を学校カリキュラムと関連付けるための方策

森本雅子, 十川真由美, 西岡伸紀

兵庫教育大学大学院学校教育研究科

キーワード：性教育, 中学校, 外部講師, 助産師, 教科間関連付け

【目的】

近年, 若年者の人工妊娠中絶数は減少傾向にあるが, 若年妊婦の出産数は減少していない. この中に, 望まない妊娠をして出産に至ったケースがあると推測される. 望まない妊娠防止のため, 助産師等の専門職の外部講師が性教育を行うこともあるが, 単発で終わることも多く, 学習効果を持続させるのは難しいと思われる. そこで, 外部講師の授業の内容の学びを, 普段の授業と関連付けることで, 効果が持続するのではないかと考えた. 外部講師, 学校におけるその方策を探るため, 学校教員に面接調査を実施し検討した.

【方法】

中学校教員経験のある現職教員, 現職大学院生 4 名に, 個別に, 1 時間程度, 半構造化面接を実施した. 質問は, ①性教育担当経験, ②性教育への抵抗感, ③外部講師による授業の参観, ④外部講師による授業との関連, ⑤外部講師との打ち合わせ, ⑥助産師に望む内容, ⑦SNS の影響の 7 項目で実施した.

【倫理的配慮】

対象者に, 本研究の趣旨, インタビュー実施目的, 学校及び個人が特定されない配慮のもとでデータ使用許可の了承を得た.

【結果】

対象者は, 現職教員 1 名と現職大学院生 3 名である. 内容については, ②の性教育への抵抗感は, 「どこまで踏み込んでいいか悩む」「若いころは抵抗感があったが, 子どもを知ることで今は無い」, ⑥の助産師に望むことは, 「集中力の持たない子や, 言葉での理解が難しい子がいるので具体物がある方が良い」「生徒自身のことだけでなく, 周囲の人のサポートの視点も必要」, ⑦SNS の影響については, 「情報リテラシーを身につけてほしい」「大人に対してきつい言葉を使い, やり取りは出来ているつもりでも, 相手の言うことがおかしいと判断出来ていないことに気づいていない」等の意見があった. その他の主要な結果については表 1 に示した.

【考察】

今回の調査で, 保健体育科だけでなく, 他教科を担当している教員からも, 性教育と授業内容と絡めた内容について, 命をどう扱うかという視点でつながりを持つことができるという意見があり, 関連付けの必要性があると考えられる. 今後はこの調査を基に, 教科間の関連付けの具体的な方策や実施の可能性について, 質問紙調査を実施する予定である.

表 1 インタビューの主要な結果

	A 氏	B 氏	C 氏	D 氏
①性教育担当経験	無い. 自分の担当科目でジェンダーが絡んでくる内容があったが, 教科の視点から深入りしていない。	無い。	有り. 学活で外部講師の授業の前に事前学習. 自分の担当教科で, 生物の生殖の話。	有り. 担当教科が保健体育なので, 第二次性徴や「性」は心の生き方という話をする。
③外部講師による性教育	性教育について, ずっと関係がある担任が話すのと全然違うと思うので, 外部から来たプロの方にしっかり話してもらいたい。	保健師の授業は, 専門の方が話すことで説得力がある。	学校では説明しない, 実際にあった内容を話されるので勉強になったという意見あり。	他市での講演会を見たことがある. 赤ちゃん人形を使用した命の教育。
④担当教科と性教育との関連	命をどう扱うかという意味で他教科や道徳・学活等とつながりは持てる. 切り口をどうするか。	出前講座も単発で終わるので, 系統づけるのはカリキュラムマネジメントとして良いのでは。	自分がやりたいのは, 他の生物とヒトとの比較. 生殖の利点とリスクを伝えることが出来たら。	講師の授業を受けて, それをふまえて道徳等様々な授業展開すれば意義があると思う。
⑤外部講師との打ち合わせ	総合担当の先生が実施. 身内と死別した子, 性的な衝動が抑えられない子等の情報を伝えて配慮してもらっている。	体育の女性教員が担当. 養護教諭や学年の教員の関わりは無い。	養護教諭と学年主任, 内容によっては生徒指導も入ることがある。	最近, 敏感な子がいるので, 状況などを伝えて, 気をつけてほしい言葉を伝える。